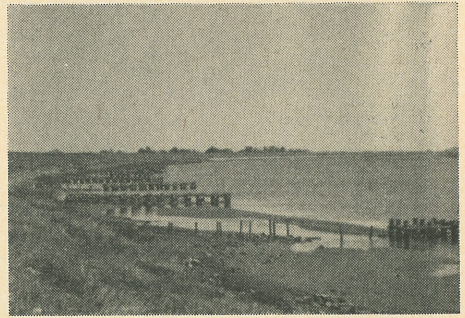


広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場 昭和41年11月15日発行 第31号



栄橋かけ替え問題の経緯(報告)

昭和五年三月、当時の大先輩並びに大先覚のご努力の結果、栗橋に次いで阪東太郎の二番目の長大橋として布川・布佐両町の組合により建設された栄橋は、その後、年々荷重の大きい車両の交通量の増加によって急激に老朽化し、損傷もはなはだしくなっております。

このようなわけで、現在では荷重四トン、幅二メートル高さ二・三メートルと車両の通行も大幅に制限され、布佐駅行きのバスも堤防までで徒歩連絡のため通勤や通学にもきわめて不便な状態です。利根町の南玄関として、大きな役割りを果たしているこの橋のかけ替えは、広域行政の見地からも目下の急務となっており、町では、昨年八月かけ替え期成同盟会を結成して強力に促進運動を展開してまいりました。以下はその概略です。

まず最初は、竜ヶ崎をはじめ北相馬・稲敷全市町村にて現在の橋のかけ替えにより、定期バスやタクシー等大型車の通行ができるよう知事及び県土木部並びに県選出国会議員の先生がたにも陳情を続けま

した。

その結果としてとりあえず現在の橋を応急に補修しようということになったのです。

しかし、応急補修となるとどうしても軽四輪程度の車両が安全に通行できる仮橋が必要なわけで、仮橋架設という大きな壁にぶつかってしまつたのです。なぜなら朝夕の通勤者や通学生の数に想像以上に大きく、昔ながらの渡舟等では到底不可能なことがわかつたからです。

ちなみに利根川下流の銚子大橋は、実現まで十年、長豊橋は実に十三年の歳月の努力の結集と聞えております。

そこで町では、去る八月関係の深い各階層から広く委員を委嘱して「利根町栄橋かけ替え促進対策委員会」を組織し、一層の推進と町としての意見の統一を図ると共に、これからの善後促進策を協議することになった。

「利根町栄橋かけ替え促進対策委員会」の委員は次のとおりです。

- 委員長 加納久頭(町長)
- 副委員長 高野政男(議長)
- 委員(常) 高野政男(議長)
- 委員(常) 高野政男(議長)

- 副委員長 鈴木 吉(産経委員長)
- 副委員長 小島栄一郎(商工会長)

- 長谷川光男(常)
- 関口清二郎(常)
- 三谷俊雄(常)
- 石津謙吉(常)
- 海老原佐助(常)
- 石橋国松
- 鈴木茂
- 小田部徳太郎
- 中谷孝
- 高橋良助
- 新井太郎
- 和田野安五郎
- 香取利夫
- 弓削一男
- 坂本義三郎
- 石井福
- 山崎敏望
- 山田弘
- 油原良
- 白井好太郎
- 吉野政信
- 伊藤勝太郎
- 北沢利
- 菅田勇

【注】(常)は常任委員

いずれにしても、県や国へ陳情するには、はっきりとした町の方針をうたさなければなりません。

- ① 船橋(神崎式)を作つて補修する方法
 - ② 仮橋を作つて短期間で補修する方法
 - ③ 現在の橋はそのまま新橋を建設する方法
- 以上について協議研究すると同時に、さらに我孫子町代表(千葉県)や県選出の国会議員(衆参両院)及び稲・北選出県議のお力添えを得て、再三再四強力な陳情を重ねてまいりました。

そして最近に至り、橋本建設大臣を訪問し、栄橋かけ替えについての茨城県の方針を報告すると共に、栄橋かけ替えについての要請をしたところ、できるだけ早い機会に実施するよう努力する旨の力強い回答をいただきました。また先月の中旬にも建設省へ陳情。田口、赤羽両県議の案内にて、我孫子町代表と共に用意して持つて行った陳情書十部を建設大臣及び関係道路課長、道路局長、建設技監、政務次官、事務次官その他の部局に提出陳情しました。

その結果、関係者より、新橋建設について万全の策を講ずるとの回答を得て町としては、前記の三項目のうちの③つまり、応急補修は必要の最小限とし、その他はすべて新橋建設一本に進む方針に傾きつつ現在に至っております。以上のように、新橋建設についての今後の見通しは、関係各位及び町民のみならずの絶大なるご協力により非常に明るくなりましたが、さらに一層のご支援をお願い申し上げます。栄橋かけ替え促進経緯の概略をお知らせいたします。

☆ ☆ ☆

昭和42年度利根町 成人式典開催について

昭和42年1月15日行なわれる成人式は、ご承知のとおり「国民の祝日に関する法律」に定められてありますが「成人の日」としておとなになったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年男女を祝いはげます日です。利根町でも恒例の行事として開催いたすべくたゞいま該当事者の調査等いろいろ準備しております。なお、成人者の参加につきましては、当日の出席可否が問題になりますので、今後これらの調査を行ない、はっきり出席の有無を調査いたしますので、該当事者あて書類が参りましたら、必ず教育委員会事務局あてご回答をお願いいたします。

成人式参加の意義は、さきほど申し上げましたような次第ですが、式そのものにのぞむ心構えとして華美にならぬ服装を用いることが、新生活改善の意義からも大切な事であり、近年一生一代の晴れ着としてだんだん華美に流れつつあるようです。親としての気持も十分わかるのですが、本人の自覚にまつところが非常に大きいものと存じます。

つぎに、成人者の該当問題ですが、利根町教育委員会の方針としては、前年同様行なうことに決定しましたのでお知らせいたします。

昭和42年度に行なわれる成人式の該当事者は、昭和21年1月16日より昭和22年1月15日までに出生したものととなっております。

各市町村自治団においては、同窓生の該当事者をもって成人式にのぞませているところもあるようです。

しかし、成人者の該当年令の問題もあります。晴れ着等の発注内容の状況を耳にしておりますので、昭和42年度成人式には、昭和22年4月1日までの出生のかたについて、もし出席希望の場合は事務局までご連絡願います。

それらのかたがたの意向を十分確かめて、希望を尊重したいと存じます。

(利根町教育委員会事務局)



秋晴れの筑波山上で交流会

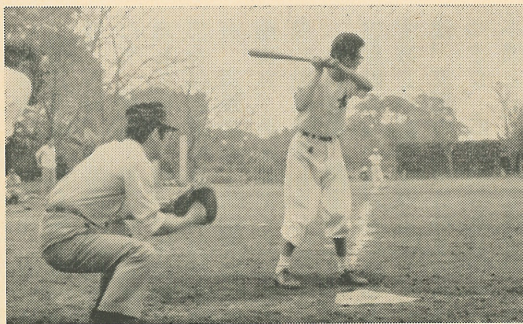
利根町 八郷町

【青年会】

利根町青年団協議会(会長 飯田勲)は、去る10月23日に筑波山上で新治郡八郷町青年団(団長 菊地健一)と大交流会を行なった。これは青年団の相互理解と県内の実情を少しでも知り、視野を広めると共に、健康的なレクリエーションを目的として行なわれたものである。

また、八郷町からは社教主事をはじめ団長以下二十数名。利根町からも会長はじめ二十数名。総数で五十余名が参加十一時開始。双方の会長あいさつ。続いて自己紹介。昼食に及んでふんい気もなごやかなものになった。午後は県民の歌、青年歌コーラス、話し合い、フォークダンス、ゲーム等秋特有の澄みきった青空の下で多彩なスケジュールを相互一体になって行なった。躍動する青年の姿は、生き生

きとしていて未来に向かって前進する意気込みがありありとうかがわれた。最後にこれからも青年団発展のために相互協力を密にする事をかたく誓い合って「はたらの光」を合唱、別れを惜しみながら午後三時終会した。話し合いは、町の概況、青年団の活動内容、農業経営の様子、青年の生活などが中心に行なわれたが、これによって相互の理解ができたことは大きな収穫であった。終会后、今後も交流会を行ない、さらに視野を広めたいという声が多くの会員から聞くことができた。つまりこの



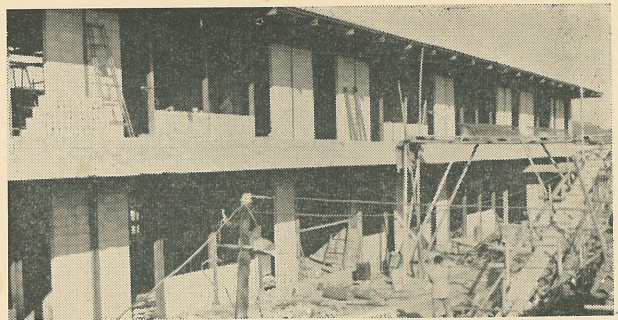
利根町野球連盟主催 秋期大会行なわれる。利根町野球連盟では、恒例の秋の大会を10月16日から日曜日ごとに4日間、布川中グランドで開催しました。この大会は、町の青年同好の士が集まって行なわれるもので、年々チームもふえ、こゝしは出場した10チームの間で優勝杯を争いました。

【写真は10月16日写す】

交流会が相当に意義のあったことを物語っていた。

(利根町青年団協議会)

【写真はゲームを楽しむ会員
10月23日筑波山上で写す】



簡易保険積立金の融資について

町内の皆さん!!

こんど町では、簡易保険の積立金から八百万円の融資を受けて東文間小学校の校舎建設資金の一部に当てました。

平素皆さんがおかけになっている簡易保険のかけ金は、わたくしたちの町では、今度で七回ほどになり、総額で三千六百万円に達し、水道事業に、また小・中学校の校舎建設に大きな役割を果たしております。

皆さんの簡易保険は、栄えれば栄えるほど町の繁栄に役

利根町産業文化祭のお知らせ

の3日間

○期間 11月26・27・28日

○場所 公会堂・布川小・徳満寺・街頭

なお、催し物としましては小中学生の作品展・野球大会・料理・手芸・生花展・詩吟・剣道大会・総合美術展・街頭演芸・碁・将棋大会を計画しております。

ご期待ください。

布川保育園運動会

布川保育園の運動会は、去

だち、国の基礎は固まってゆきます。

この上共に町内の皆さんに心からの支持を期待してやみません。

郵政省・利根郵便局・利根町役場

郵便貯金の行くえ

ただいま、住みよい郷土をつくる郵便貯金の特別増強運動が、全国に繰り広げられております。

平素皆さまによって預け入れられた郵便貯金は、わたくしたちの生活にどんなつながりがあるのでしょうか？ それは、いったん皆さまによ



る10月21日、澄みきった秋空のもとで行なわれ、鈴割り、綱引き、大福食い競争、親子

ます。(利根町役場広報係)

新品種紹介

水稻「日本晴」

一、来歴

「日本晴」は、昭和32年愛知県農試において「ヤマビコ」を母とし「幸福」を父として人工交配を行ない、世代促進により育成されたものである。

二、特性概要

かん(稈)長は、中生新千本よりやや長いが農林29号及びクサブエなどよりかなり短い。分けつは中生新千本よりやや少なく、穂数型としては、初期の分けつ力がやや少ない。

ゆうぎなど多彩なプログラムで、おかあさんたちといっしょに、一日中楽しく過ごしました。

【写真は建設中の東文間小学校。10月24日写す】

写真集「ゆうぎ」

募集

広報や町政に対するご希望ご意見・ご質問などをお寄せください。また、文芸作品や児童の作文なども歓迎いたします。

今晚の献立(16)

茶わん蒸し

材料Ⅱ(七人分)

卵 5個

肉 1百g

しいたけ 中7枚

ハンペン 1枚

ミツバ (またはホウレンソウ) 少々

しょうゆ 少々

だし煮干し 少々

砂糖 少々

作り方Ⅱ

① 一リットルの水で、だし煮干しのだしをとる。

② 肉としいたけは、しょうゆ、砂糖でうすあじに煮ておく。

③ ミツバは熱湯をとおしておく。

④ さめただし汁に、卵を割ってほぐし、少量のしょうゆを入れ、よくかきまぜて卵汁をつくる。

⑤ 以上の材料を器の中に適当に盛りわけて卵汁をたっぷりかけて15分ぐらい蒸す。

ソーセージとジャガイモのくし焼き

材料Ⅱ(五人分)

ウィンナーソーセージ 20本

ジャガイモ 20個

ピーマン 5個

パセリ 少々

油・塩・コシユウ 少々

作り方Ⅲ

① ウィンナーソーセージの表面に縦横に切れ目を入れま

す。

② ジャガイモはゆでて塩をふっておきます。

③ ピーマンは縦二つに切りたねをとり、ジャガイモを包むようにします。

④ くしにソーセージとジャガイモを交互に二個ずつ刺して、フライパンで表面に焦げ目のつくように焼き、塩、コシユウをします。

⑤ 一人前二本ずつおさらし盛りパセリをそえます。

利根町食生活改善推進員協議会

商工会だより

去る十月十五日、利根町公会堂において、利根町商工会青年部設立総会が開催されましたので、その総会の模様をお知らせします。

会員数 四九名

本人出席 一五名

委任状 一三名

同日午後三時、星野道雄氏の司会により総会を進行。

商工会長あいさつ。議長に山崎孝之氏が指名選任され

議案の審議にうつる。

◆第一号議案

青年部規約設定について

◆第二号議案

事業計画並びに収支予算書(案)について

以上星野氏報告。

一同異議なく賛成原案承認を決定した。

◆第三号議案

役員を選出について

選出方法について一同に

はかったところ、選考委員において決定するとの声あり。

左記のとおり委員長より報告があり議長一同にはか

部 長 新井 幸雄

副部長 山崎 孝之

書 記 小室 勲

会 計 中村 昭夫

監 事 星野 道雄

山口 清

武藤 孝夫

右記役員に対し、一同異議なしにて決定。

三浦半島と房州の旅と研修会

三浦大橋有料橋よきょうも雨降る城ヶ島
油壺なる七色水は名付け城主の語り草
フェリーポートに波風たたず安房を結んで金谷から
保田の海岸見て島じまに真珠いかだが橋に見え
ロープウェイにて鋸山へ伊豆と上総が一ながめ
見えた勝山頼朝公も無情感じた時もある
那古の観音地ぶくれ石へ刻む大師の名が残る
里見公園八犬伝で今の世までも名を残す
宿の館山入りくる舟にびんとはねます生き作り
伊豆の大島浮かんで見える赤い椿が招くよに
鳴の松島燈台あかり赤い椿に書きたより
外の海かよ白浜海は波も高いが女男波
海の白帆へ清澄さんはぐっと突きでて修行寺
鯛もよせくる小湊さんはうちわ太鼓の音がする
養老溪谷人手をかりずよくぞ自然のこの美観

利根町老人クラブの館山研修会の回りし
道順に名所名所を正調にて作詞した。(迷花)

庁内人事

【臨採】

大塚志野夫(産業経済課)

続いて、部長就任あいさつ。来賓、議会議長、常陽銀行布川支店長、県商工会連合会より祝辞があり、星野氏が閉会のことばをのべて総会は無事終了。

◆店舗診断を行ないましよう

お店の繁栄のために診断を受けましよう。相談事項は

秘密を守り無料です。設備

資金のあつせんもいたします。

お気軽に商工会事務局までお申し込みください。

利根町商工会
事務局・玉村

町勢	(昭和41.11.1現在)	
世帯数	1,757	
人口	8,739	{ 男 4,275 女 4,464
発行所	利根町役場	
町長	加納久頭	
編集	産業経済課	
電話	[利根] (029768) 9番69番	
印刷	倉沢印刷株式会社	